



**5月7日(木)～31日(日)まで
臨時休業が、延長することとなりました。
ご理解のほどよろしくお願ひします。**

新型コロナウイルス感染症への対応について

校長 長谷川雅夫

新型コロナウイルス「緊急事態宣言」が発令され1ヶ月が経とうとしています。いまだに収束の兆しが見えない中、学校も臨時休校をせざるを得ない状況が続いております。子供たちの学力のこと、生活習慣のこと、心身の健康面等ご心配されている保護者の皆様も多いと考えます。厳しい状況の中ですが、子供たちにとって「何がベターか」を考えながら、全教職員で力を合わせていきます。

今年のGWはステイホーム週間として呼びかけられております。今後も不要不急の外出の回避、マスクの着用、手洗い、うがい、咳エチケット、十分な睡眠と栄養補給等、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に努めてください。

皆様のご理解とご協力をよろしくお願ひします。



1 子供たちの学力を保障するために・・・

5月7日になれば授業が再開できるのではないかと、再開したら勉強の遅れを取り戻そうと学校では授業の準備、課題の作成、指導法の研究、環境整備などを進めてきました。同時に休校により削られた授業時間をどう確保するかを検討してきました。熊谷市では、4月24日のメールでお知らせさせていただいたように、夏休みを8月1日(土)～8月23日(日)に縮小して、13日間の授業日を設定することになりました。13日間を5時間授業にしたとしても65時間にしかならず、右表のように授業の再開が遅れるほど授業時間が大きく不足する状況になっています。

※ 過不足：国で定められた標準授業時数と各教科の合計授業時数から算定しています。

【授業再開の時期と授業時数の過不足】

授業再開の時期	学年	1年	2年	3年	4年	5年	6年
		標準授業時数	850時間	910	980	1015	1015
5月7日	過不足	+14	-14	-25	-39	-44	-54
6月1日	〃	-68	-100	-116	-134	-139	-149
7月1日	〃	-178	-214	-240	-262	-267	-277
9月1日	〃	-255	-293	-321	-345	-350	-360
	学校行事等	31	29	28	41	43	47

2 学校行事・教育活動をゼロベースで見直す

学校で行われてきた行事や教育活動は、これまで「三尻小教育」として長年にわたり工夫を重ねながら成果を上げてきたものです。しかしながら、感染症の拡大、授業時間の大幅な不足が問題となっている今、これまでどおりに実施することは不可能な状況にあります。これまでの取組を「ゼロベース」で、「3密(密閉・密集・密接)」「時間対効果」の視点から見直しを図っていきます。当然、バスや電車での移動や宿泊するような学校行事の実施は当然難しいといえます。様々な活動において、準備から本番までの時間を見直し無駄な時間を削ぎ落とすことで、授業時間を産み出すとともに成果を上げていきます。遠くへ出かけて行かなくても、身近な人材・施設・環境を生かしながら大きな成果を上げられるよう工夫をしていきます。



三尻地区、熊谷市、郷土の素晴らしさを再発見！！
子供たちのために、皆様のお力をお貸しください。

3 学ぶ喜び・楽しさを追求し、学力を上げる授業づくり

本校のみならず、市内外の行事や大会等の中止の連絡が入ってきています。子供たちの「喪失感」を少しでも軽減するためには、毎日の授業の充実を図る以外にありません。楽しくて仕方がない。またやりたい、待ち遠しい。一人一人の子供の心に火をつけるような授業展開に努めます。全教職員が、教えるプロとして授業改善に取り組んでいきます。

【視点1】一人一人が主役(活躍の機会、体験・実感できる機会、友達と関わる機会を保障)

【視点2】一人一人に合った、少し頑張れば手の届くような課題を設定し、トライ&エラー

【視点3】一人一人を確実に伸ばす。成長を実感できるようにする。

【視点4】一人一人を「徹底的にかまう」・・・ほめる・励ます・自信をもてるようにする。



4 授業動画の配信

熊谷市では、学習支援コンテンツとして授業の動画をYouTubeで配信する予定です。現在、市内すべての学校で作成の準備を進めています。



児童用ロッカーが生まれ変わります！

2年生の教室の児童用ロッカーは、奥行きが30cmしかなく、ランドセルを入れると手前に落ちてしまうことが度々ありました。職員作業でロッカーをDIYしました。

安心してランドセルを入れることができます。2年生のみなさん楽しみにしてくださいね。



生活のリズムは大丈夫ですか？

臨時休校が長くなり、子供たちの生活のリズムは崩れていませんか。早寝・早起き・朝ごはん、そして、密集を避けての運動などを心がけ、規則正しいリズムで生活できるようにしていきましょう。そのために、親子で話し合い、一日のタイムスケジュールをたててみてはいかがでしょうか。活動の設定については、日頃できないようなことにチャレンジしたり、お手伝いなどに取り組んだりするのもよいですね。



親子で「ギュウッ！」

臨時休校が長くなり、子供たちの精神面の心配が出てきていませんか。新型コロナウイルス感染症への不安、学校にいけないことへの不安、思いっきり運動や勉強ができないことでストレスが溜まっていないでしょうか。また、親のストレスが子供に影響していないでしょうか。「ギュウッ！」とするだけで、幸せホルモンが分泌されることをあるテレビ番組でやっていました。「オキシトシン」というホルモンで、ストレスを消し多幸感を与えてくれるのだそうです。併せて、耳元でささやくと相手の感情を動かしやすくなるのだそうです。(※電話詐欺に引っかかるのはこの心理効果を悪用)親子のスキンシップ、コミュニケーションを図りながら、親子で幸せな気分になってみてください。

